

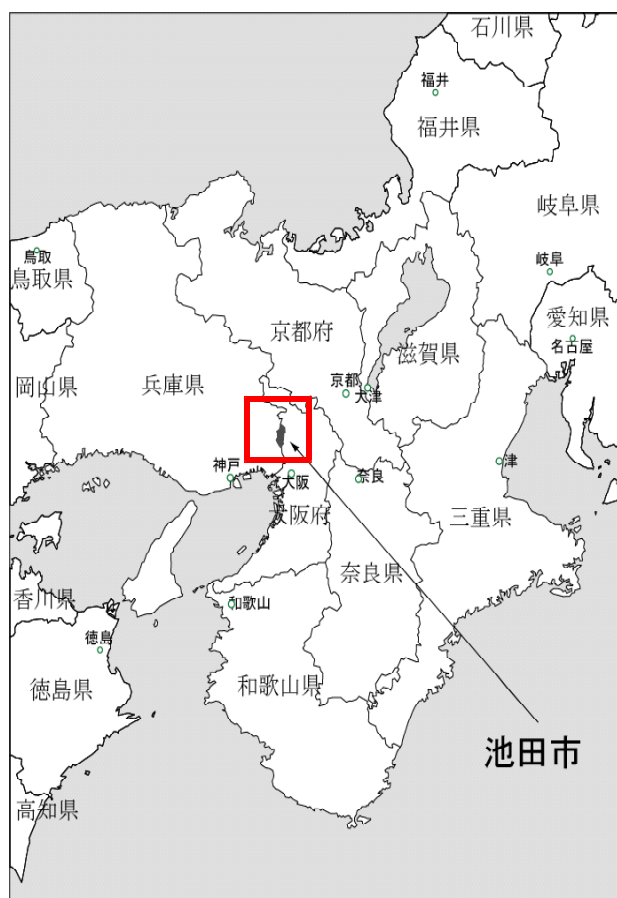
# 子どもの安全を守る ANSINメールシステム

## 池田市

### ○ 取組の概要

子どもの安全にかかわる情報を、携帯電話やパソコンなどに電子メールで配信。地域ぐるみで子どもの安全を確保。

### ○ 池田市の概要



#### 池田市の概要

##### 市役所所在地

●大阪府池田市城南1-1-1

##### 人口

●99,224人

※H17.3.31現在（住民基本台帳人口）

## ○ 取組について

### 1. 取組の背景

- ・大阪教育大学附属池田小学校における児童殺傷事件を契機に、児童の安全確保対策を積極的に実施。その中の一つの施策として「ANSIN メールシステム」を運用している。

平成 13 年 6 月 8 日：大阪教育大学附属池田小学校児童殺傷事件発生

6 月 21 日：池田市市民安全基金条例制定、施行

10 月 12 日：セーフティキーパー構想に基づく安全パトロール隊発足。  
(池田警察署、池田郵便局等とも連携)

平成 14 年 1 月 28 日：阪急タクシーがセーフティキーパーに参加

9 月：教育委員会が入手した情報の、消防署、阪急タクシー、池田郵便局等への FAX による提供を開始

平成 15 年 7 月 1 日：市役所に危機管理課を創設 (安全パトロール車 2 台導入)

平成 16 年 5 月：池田タクシーがセーフティキーパーに参加

6 月 8 日：ANSIN メール運用開始

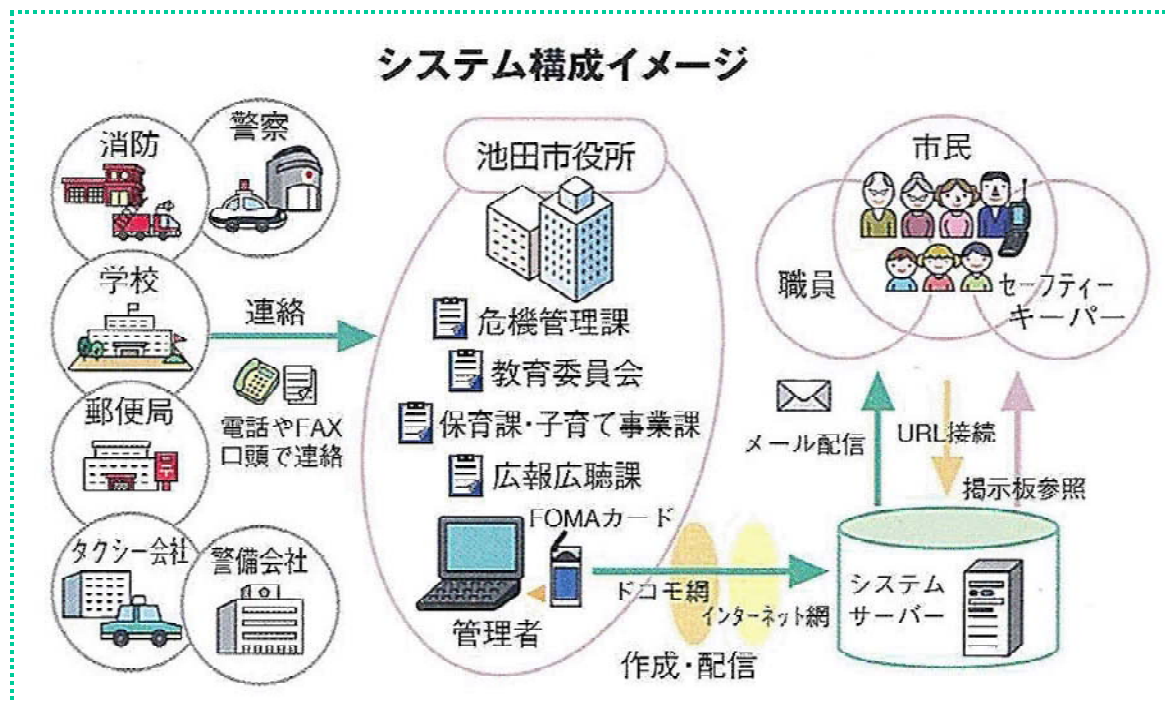
### 2. 取組の具体的内容

- ・子どもたちの安全に関する情報を希望者の携帯電話等にメールで提供し、子どもたちの安全監視と見守り体制の強化を図ることを目的とし、平成 16 年 6 月 8 日より運用開始した。
- ・配信される情報は、不審者情報や子どもに危害が及ぶ恐れのあるものなど、子どもの安全に関わる情報である。
- ・市内の小中学校・幼稚園、保育所等に通う生徒や児童の保護者などを中心に、メール配信希望者であれば、市内外を問わず登録が可能である。
- ・関係職員及び池田市セーフティキーパー (※) も配信登録。配信情報に反応し、即座に市内の安全監視体制が強化される。

※池田市セーフティキーパーとは

「安全監視の職務を担う市職員」及び「市の委託又は要請を受けて安全監視を行う民間人」の総称。地域の安全監視 (見守り) を行う体制として、平成 13 年 10 月に発足した。

市の職員としては、危機管理を専門に担当する「危機管理課」職員を中心に、消防や施設管理公社の職員も通常業務の範囲内で安全監視を行う。民間からは、市内を走るタクシー会社や郵便局、消防団等の参加を得ている。



(資料) 池田市ホームページより

### 3. 取組にかかる事業費

- ・ システム開発費用は 105 万円。
- ・ 運用経費は 1 年間で 109 万円（平成 16 年度）。
- ・ 17 年度にシステムの機能更新を行い、国内メーカーすべての機種に対応可能となった。
- ・ これらの経費は、原則として池田市市民安全基金（市民等からの寄付が主な財源）から支出している。

### 4. 取組の体制

- ・ 住民からも子どもに関する危険情報の提供を受けている。
- ・ 地元警察署と密に連絡を取り合い、情報収集や寄せられた情報の信憑性の判断を行っている。

### 5. 取組の成果

- ・ 平成 17 年 3 月 23 日現在の登録件数は、4,325 件にのぼる。
- ・ 運用開始からの半年間で、メール配信された危険情報は 15 件。うち 2 件が犯人逮捕につながった。
- ・ 子どもを持つ親を始めとして、市民からは非常に高い評価を得ている。また「安全・安心の確保」が全国的に喫緊の行政課題であることから、全国からの問い合わせも多い。

(犯人逮捕の事例)

2004年7月、不審者が大阪府能勢町の路上で下校途中の小6女子2人に声をかけた。また1時間半後、現場から約5kmはなれた路上で下校途中の女子中学生にも声をかけて誘った。

小学生らが覚えていた容疑者の車のナンバーが、ANSINメールで事件翌日に配信され、容疑者の同僚らが気づき通報し、逮捕につながった。

## 6. 今後の課題

- ・ 配信する情報の内容について、子どもの安全に関わる啓発・防犯・災害・警報などの情報も幅広く配信することを検討している。
- ・ 警察との連携、情報交換をさらに密にすることに加え、近隣自治体との相互連携も図っていくことが必要である。